

SC販売統計調査報告 2011年12月

12月既存SC前年比 : 1.9 %

このたびの東日本大震災により被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地域の日も早い復興をお祈り申し上げます。

※SC総売上高(推計)につきましては、東日本大震災の影響により、2011年年間売上高発表時に併せて、2月中旬に年間の推計値として、発表させていただく予定です。

■概況

2011年12月の既存SCの前年同月比は1.9%で、5ヶ月振りに前年を上回り、前月より3.1ポイント改善した。

月後半の気温低下により、重衣料やロングブーツ、マフラー、機能性肌着等防寒衣料の動きがよく、加えてギフト需要も活況でプラスに好転した。クリスマスの3連休や、一部のテナントではプレセールの実施、またポイント還元など積極的な販促策も功を奏し、来店客数や客単価が上昇したとの報告が見られた。来店客数の増加に伴い、飲食店も前年をクリアしたテナントが多かった。キーテナントは前月は-1.9%で下げ幅が大きかったが、今月は0.1%で前年を上回った。

立地別では、中心地域が全体で3.3%、特にテナントは3.8%、キーテナントも1.2%と好調であった。

地域別では、東北地方(7.5%)、北海道(4.9%)、関東(3.2%)が好調であった。特に東北の中心地域は13.6%で、引き続き復興需要がみられる。一方四国は-3.0%、近畿が-1.0%と厳しい状況が続いているが、これは競合の影響やテナント退店による空き区画の増加があげられる。

政令指定都市別でみると、仙台市が15.8%、特にテナントが16.5%と高く、札幌市(5.5%)、横浜市5.4%(テナント6.2%)、広島市4.8%(テナント5.6%)と、衣料品を中心に全体を押し上げた。一方大阪市(-2.0%)、京都市(-0.9%)、福岡市(-0.7%)は、駅前立地の大型商業施設の開業に伴う周辺施設の売上減が主な要因である。

※本調査は、2009年12月末現在の全SC3,013SCの中から立地別・SC規模別に1,000SCをサンプル抽出し、調査したものをまとめた。

※集計SC 527SC 回収率 52.7%

※「立地別・地域別 総売上高」「立地別SC・キーテナント・テナント効率」につきましても、東日本大震災の影響により、販売状況を正確に把握できないことから、発表を控えさせていただきます。

表-1 立地別・構成別 売上高伸長率

立地	SC数	総合	テナント	キーテナント	
総合	527	1.9	2.8	0.1	
中心地域	大都市	69	4.2	4.2	3.4
	中都市	78	2.4	3.0	1.2
	小都市	27	2.8	4.4	0.1
	小計	174	3.3	3.8	1.2
周辺地域	126	1.1	2.7	-1.8	
郊外地域	227	1.1	1.7	0.4	

(注) ■ 都市規模

大都市 : 政令指定都市(札幌・仙台・千葉・東京区部・川崎・横浜・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡・北九州の各市)

中都市 : 上記都市を除く人口15万人以上の都市

小都市 : 人口15万人未満の都市

■ 立地 (市・町・村の行政区画単位で区分)

中心地域 : 当該市・町・村の商業機能が集積した中心市街地

周辺地域 : 中心地域に隣接した商業・行政・ビジネス等の都市機能が適度に存在する地域

郊外地域 : 都市郊外で住宅地・農地等が展開されている地域

表-2 立地別・地域別 売上高伸長率

地域		立地(SC数)										
		総合	北海道	東北	関東	中部	北陸	近畿	中国	四国	九州・沖縄	
総合	527	1.9	4.9	7.5	3.2	0.2	0.1	-1.0	1.4	-3.0	2.6	
中心地域	174	3.3	5.3	13.6	4.8	3.7	0.4	-1.1	0.9	-4.4	1.8	
周辺地域	126	1.1	4.3	5.3	1.8	-3.1	-2.3	-0.9	0.0	-3.4	3.7	
郊外地域	227	1.1	4.2	5.6	2.4	-0.8	0.5	-1.0	1.8	-1.7	2.5	
(SC数)		527	14	32	187	50	42	120	28	13	41	

(注) ■ 地域

北海道 : 北海道

東北 : 青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県

関東 : 茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県

北陸 : 新潟県・富山県・石川県・福井県

中部 : 長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県

近畿 : 滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県

中国 : 鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県

四国 : 徳島県・香川県・愛媛県・高知県

九州・沖縄 : 福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

表-3 都市規模別・地域別
売上高伸長率

都 市	SC数	総 合	テナント	キーテナント	
総 合	527	1.9	2.8	0.1	
政 令 指 定 都 市	札 幌 市	9	5.5	5.5	-
	仙 台 市	3	15.8	16.5	5.4
	千 葉 市	5	3.3	3.3	-
	東 京 区 部	50	3.2	4.8	-1.3
	横 浜 市	19	5.4	6.2	3.3
	川 崎 市	5	3.4	3.0	4.7
	名 古 屋 市	12	3.7	5.6	-2.1
	京 都 市	12	-0.9	-0.6	-1.2
	大 阪 市	27	-2.0	-2.1	-1.4
	神 戸 市	18	1.3	2.5	-1.2
	広 島 市	8	4.8	5.6	-0.6
	北 九 州 市	2	2.3	2.9	-0.7
	福 岡 市	9	-0.7	-0.5	-2.0
	小 計	179	2.7	3.6	-0.4
そ の 他 の 地 域	北 海 道	5	-1.7	-3.3	-0.4
	東 北	29	6.0	7.2	3.8
	関 東	108	2.6	2.9	2.0
	中 部	38	-1.5	-2.1	-0.6
	北 陸	42	0.1	1.9	-1.7
	近 畿	63	-1.1	-0.3	-1.6
	中 国	20	0.3	0.6	-0.1
	四 国	13	-3.0	-3.1	-2.9
	九 州・沖 縄	30	3.6	4.9	1.4
小 計	348	1.4	2.1	0.3	

※「その他の地域」には、政令指定都市は含まない。

※2003年以降、さいたま市、静岡市、浜松市、新潟市、堺市、岡山市が、2010年4月は相模原市が政令指定都市となったが、さいたま市、相模原市は関東地域、静岡市・浜松市は中部地域、新潟市は北陸地域、堺市は近畿地域、岡山市は中国地域に含めた。

表-4 キーテナント業態別
売上高伸長率

キー業態	SC数	%		
総 合	527	1.9		
核なし	244	4.0		
1 核	Dpt	15	2.7	
	GMS	133	-0.2	
	SM	49	1.8	
	SS	3	-1.4	
	HC	2	3.2	
	DS	3	-2.3	
	専門店	6	-5.4	
	生協	8	0.8	
	農協	1	-4.0	
	Dgs	1	-5.7	
	小 計	221	0.5	
	2 核	Dpt+GMS	4	1.4
		Dpt+SM	2	3.9
		Dpt+SS	-	-
Dpt+HC		-	-	
GMS+SM		2	3.1	
GMS+SS		-	-	
GMS+HC		5	-1.0	
GMS+専門店		5	-2.7	
SM+SS		5	-2.2	
SM+HC		4	-0.4	
SM+DS		4	0.7	
SM+専門店		6	-4.1	
DS+専門店		-	-	
生協+HC		1	-1.2	
その他	9	2.4		
小 計	47	0.7		
3 核	Dpt+GMS+SS	0	0.0	
	Dpt+GMS+HC	2	-4.3	
	GMS+SS+HC	-	-	
	GMS+DS+HC	-	-	
	SM+SS+HC	-	-	
	その他	12	2.1	
小 計	14	1.2		
4 核	その他	1	-6.7	
小 計	1	-6.7		

表-5 立地別SC・キーテナント・テナント効率

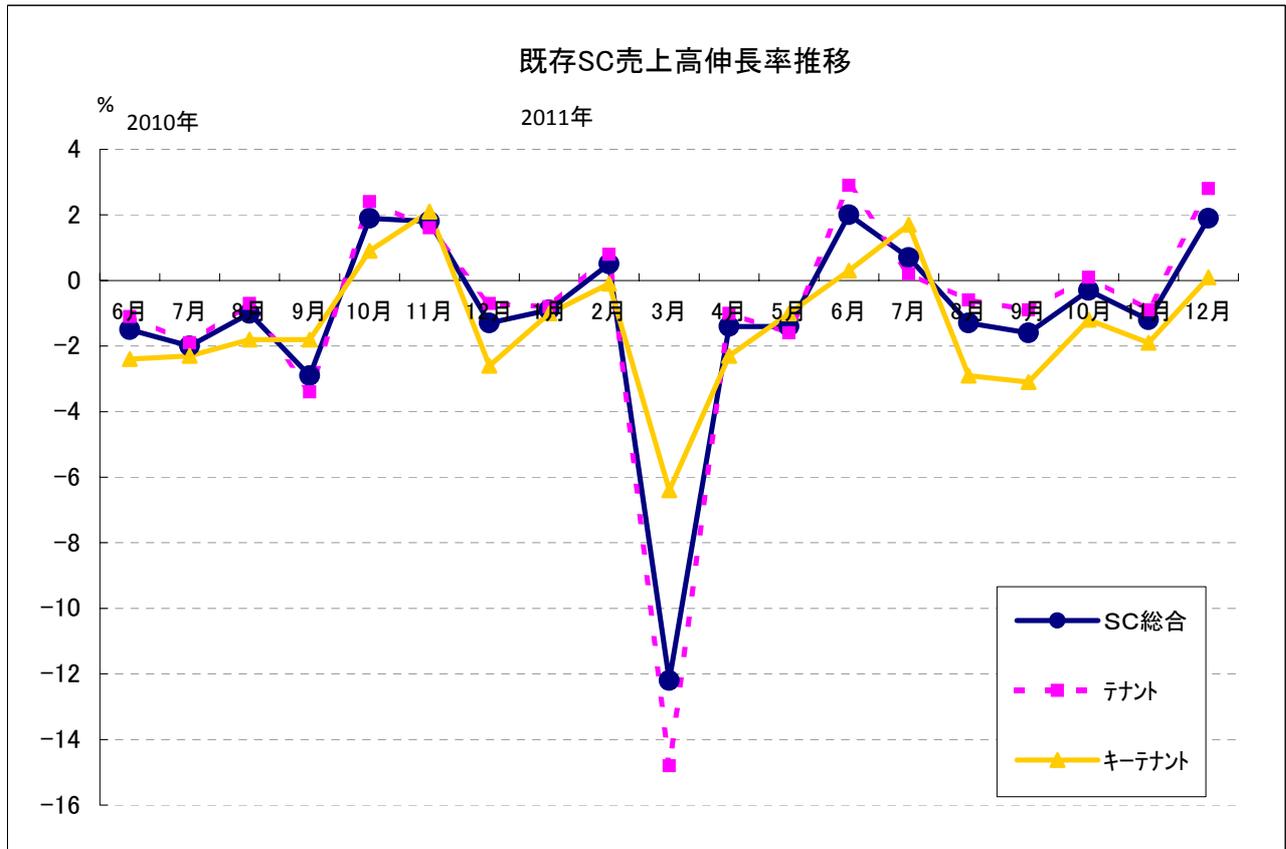
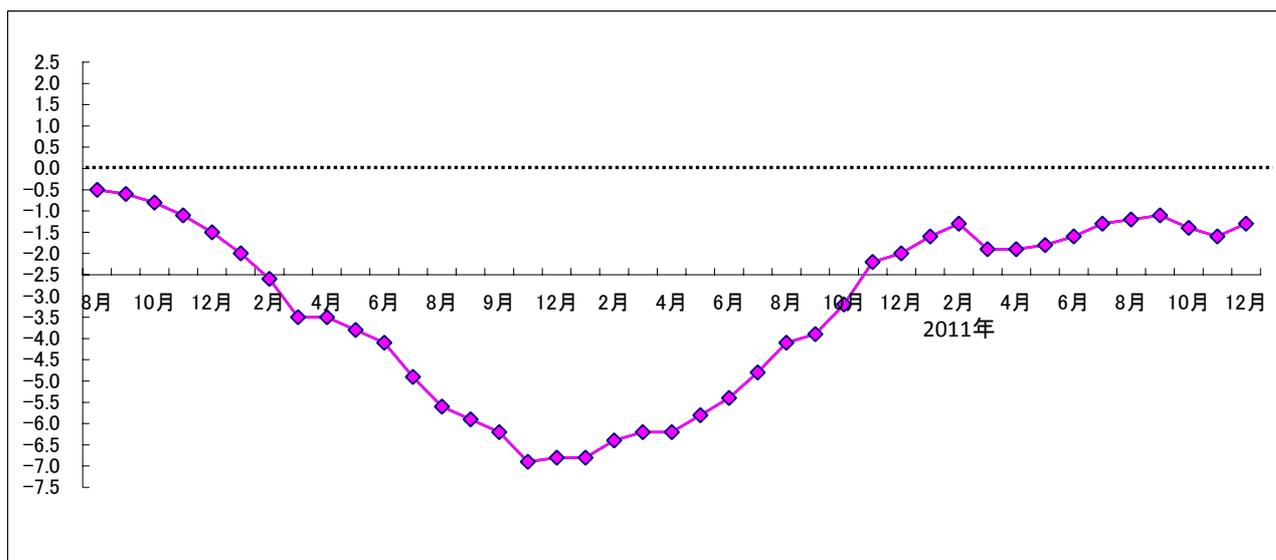


表-6 既存SC移動平均(年間)

	2011	2010	2009	2008	2007	2006
1月	-1.6	-6.8	-2.0	-0.2	0.9	0.2
2月	-1.3	-6.4	-2.6	-0.7	1.0	0.6
3月	-1.9	-6.2	-3.5	0.2	0.6	1.0
4月	-1.9	-6.2	-3.5	0.0	0.5	1.1
5月	-1.8	-5.8	-3.8	-0.2	0.4	1.2
6月	-1.6	-5.4	-4.1	-0.7	0.5	1.2
7月	-1.3	-4.8	-4.9	0.0	0.0	1.2
8月	-1.2	-4.1	-5.6	-0.5	0.0	1.2
9月	-1.1	-3.9	-5.9	-0.6	-0.3	1.2
10月	-1.4	-3.2	-6.2	-0.8	-0.1	1.1
11月	-1.6	-2.2	-6.9	-1.1	0.0	0.8
12月	-1.3	-2.0	-6.8	-1.5	0.0	0.3



(注1) 移動平均(年間): 該当月を含めて過去1年間の平均値を算出したもの。季節変動による特殊要因や曜日・祭日などの影響が取り除かれ、方向感が把握しやすくなる。

* 例えば、2011年12月の移動平均は、2011年1月～2011年12月の累計売上に対する前年比です。

$$\left(\frac{\text{2011年1月～2011年12月}}{\text{2010年1月～2010年12月}} - 1 \right) \times 100 = \text{12月の移動平均伸率(\%)}$$

表-7 SC・百貨店・チェーンストア 売上高前年対比

		SC数	S C			百貨店	チェーン ストア
			既存SC				
			SC総合	テナント	キーテナント		
年別	00年	(185)	-3.4	-3.1	-3.7	-2.2	-5.1
	01年	(255)	-2.2	-1.4	-3.3	-0.4	-5.2
	02年	(328)	-2.1	-2.1	-2.1	-2.3	-2.1
	03年	(462)	-1.6	-0.8	-2.4	-2.8	-3.2
	04年	(522)	-1.7	-0.9	-2.9	-2.8	-3.5
	05年	(550)	0.3	1.5	-1.9	-0.2	-2.6
	06年	(523)	0.3	0.9	-0.7	-0.7	-2.7
	07年	(515)	-0.0	0.3	-0.6	-0.5	-1.4
	08年	(553)	-1.5	-1.1	-2.3	-4.3	-0.7
	09年	(507)	-6.8	-6.5	-7.4	-10.1	-4.3
	10年	(513)	-2.0	-1.7	-2.8	-3.1	-2.6
2010四半期別	(1～3月)	(551)	-4.2	-3.6	-5.5	-4.9	-4.7
2010四半期別	(4～6月)	(526)	-2.2	-1.7	-3.4	-4.0	-3.9
2010四半期別	(7～9月)	(531)	-2.1	-2.1	-2.0	-3.1	-0.9
2010四半期別	(10～12月)	(535)	0.7	1.0	0.0	-0.8	-0.9
2010上半期	(1～6月)	(488)	-3.3	-2.8	-4.4	-4.4	-4.3
2010下半期	(7～12月)	(523)	-0.8	-0.7	-1.0	-1.8	-0.9
2010 月別	1月	(557)	-5.3	-4.5	-7.1	-5.7	-4.9
	2月	(541)	-2.5	-2.1	-3.2	-5.4	-2.4
	3月	(546)	-4.4	-3.9	-5.6	-3.5	-6.6
	4月	(517)	-2.8	-2.4	-3.6	-3.7	-4.9
	5月	(539)	-2.4	-1.4	-4.6	-2.1	-5.3
	6月	(540)	-1.5	-1.1	-2.4	-6.0	-1.4
	7月	(537)	-2.0	-1.9	-2.3	-1.4	-1.2
	8月	(538)	-1.0	-0.7	-1.8	-3.2	-1.1
	9月	(537)	-2.9	-3.4	-1.8	-5.2	-0.3
	10月	(533)	1.9	2.4	0.9	0.6	-0.3
	11月	(534)	1.8	1.6	2.1	-0.5	-0.5
	12月	(538)	-1.3	-0.7	-2.6	-1.5	-1.6
2011 月別	1月	(533)	-0.9	-0.8	-1.0	-1.1	-0.1
	2月	(505)	0.5	0.8	-0.1	0.7	0.6
	3月	(531)	-12.2	-14.8	-6.4	-14.7	0.3
	4月	(518)	-1.4	-1.0	-2.3	-1.5	-1.3
	5月	(524)	-1.4	-1.6	-1.0	-2.4	-1.4
	6月	(532)	2.0	2.9	0.3	0.3	0.1
	7月	(531)	0.7	0.2	1.7	-0.1	2.1
	8月	(521)	-1.3	-0.6	-2.9	-1.7	-2.2
	9月	(521)	-1.6	-0.9	-3.1	-2.4	-3.6
	10月	(523)	-0.3	0.1	-1.2	-0.5	-0.9
	11月	(525)	-1.2	-0.9	-1.9	-1.9	-2.3
	12月	(527)	1.9	2.8	0.1	0.8	-0.6
出典		日本ショッピングセンター協会			百貨店協会	チェーンストア協会	

調査分析

(社)日本ショッピングセンター協会 情報企画部
TEL 03-3536-8121 <http://www.icsc.or.jp>